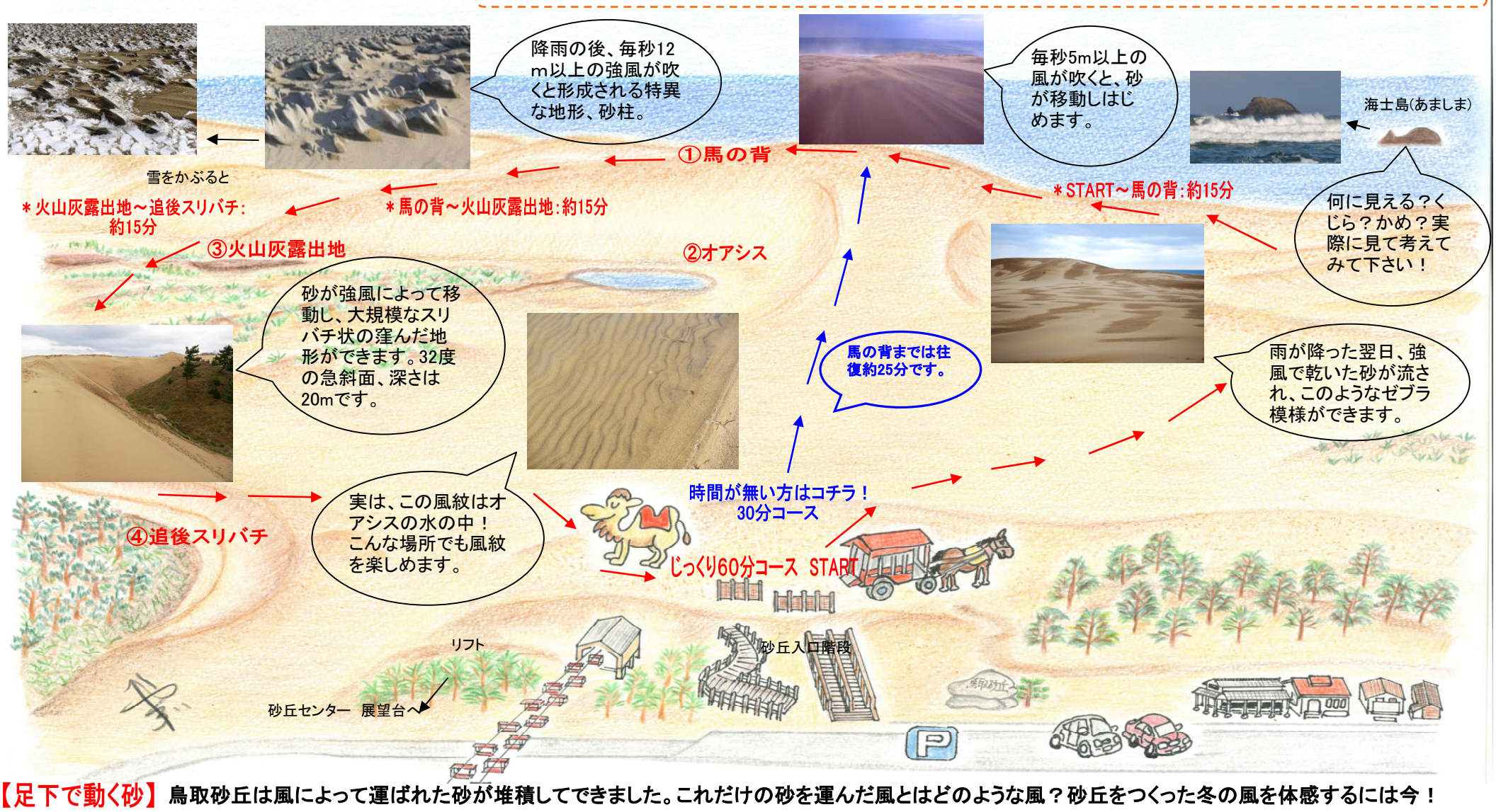
おすすめ砂丘マップ 砂嵐編

鳥取砂丘の冬。日本海からの強風で砂丘の表面が1枚1枚はぎ取られていく。吹き飛ばされた砂が全身に叩きつけてくる。これぞ冬の砂丘の醍醐味！！



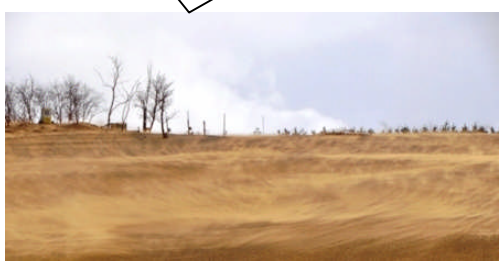
【足下で動く砂】鳥取砂丘は風によって運ばれた砂が堆積してできました。これだけの砂を運んだ風とはどのような風？砂丘をつくった冬の風を体感するには今！

強風で砂が舞い上がっています。

馬の背登り口。観光客の方は強風に飛ばされないように必死！！毎秒20mもの強風が吹くと、景色がかすみ目も開けられないほど。

馬の背頂上を走る砂。強風によって移動する砂がでこぼこの地形をつくりだします。

気象台で強風と呼ばれている毎秒10mを超える風が吹くと、砂が激しく動きます。



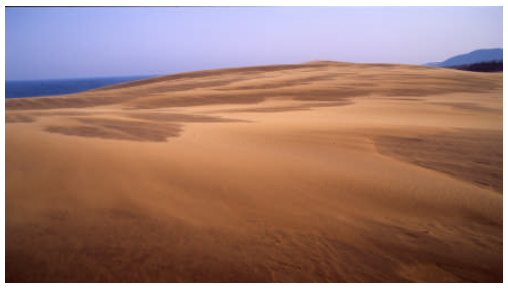
馬の背斜面では、飛ばされた砂がまるで煙のように空に昇っています。

馬の背頂上では強風により砂が飛ばされ形が変ることも。

【砂のアート】

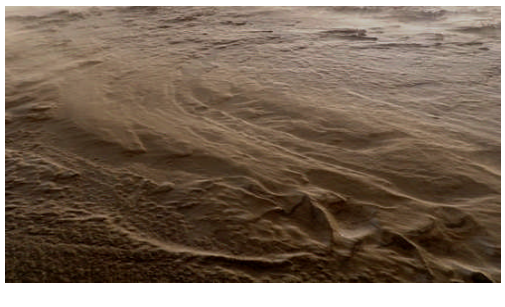
風にとって砂丘はキャンバス。風によって砂が移動したり、剥ぎ取られたり、そして堆積したりして、アートがつくられます。

■雨が降った翌日、日本海からの強風で乾いた砂が流されてできた風景。まるで、しまうまのような模様なので、砂丘事務所ではゼブラ模様と呼んでいます。強風時には目の前で模様が変化していきます。



■風の強弱によって砂粒の大きいもの、大小入り混じったものが交互に堆積し、雨水で小さい砂粒を含む部分が硬く固まります。こうして複数の層が形成され、その後の強風（10m/s以上）により砂が少しづつ剥がれて写真の様な状態になります。

■乾いた所の砂が、皮を1枚1枚剥ぎ取るようにめくられて飛んで行きバークーヘンの切れ端のような跡が残っています。



強風によって造りだされた、様々な砂のアートに出会えます☆